

第3期小川町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に係る
パブリックコメント
(結果)

令和8年3月 小川町

1. 概要

(1)実施期間 令和8年1月20日(火)～令和8年2月19日(木)

(2)意見提出者数 3人(町内:2人、町外:1人)

(3)意見数 5件

2. 第3期小川町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)についてのご意見と町の考え方

第3期小川町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について、パブリックコメントを実施したところ、3人の方からご意見をいただきました。ご意見とご意見に対する町の考え方は次ページをご覧ください。

なお、本計画は、地方において急激に加速する人口減少や少子高齢化問題に対応するための計画で、まち・ひと・しごと創生法に基づき策定するもので、今後の人口動向を客観的に分析した「小川町人口ビジョン」と、目的達成のために行うべき施策を数値目標とともに示す「総合戦略(計画部分)」から構成されています。

No.	箇所	内容	ご意見	町の考え方
1	P43 基本目標1の② 実施する主な施策・取組	移住・定住希望者の支援	「 <u>移住サポートセンターや道の駅案内所</u> によるマッチング支援」として、道の駅からもマッチングできるようにしてはどうか。	町では現在、移住サポートセンターを専門の相談窓口として位置付け、きめ細かなマッチング支援を行っています。道の駅などの観光拠点は、本町を知る入り口として重要であり、移住サポートセンターとの情報共有や連携については、「移住サポートセンターによるマッチング支援」の中で、柔軟に取り組んでまいります。
2	P43 基本目標1	情報発信の強化	SNS や YouTube などのデジタルメディアを活用し、都市部の 20～30 代をターゲットとした情報発信を強化してはどうか。	本町では、住民意識調査(転入者調査)において、転入理由として「親や子どもの家に近いから」や「通勤・通学がしやすいから」が上位を占めている一方、20～30 代の前半の純移動数がマイナスとなっており、小川町の生活環境の魅力が十分に伝えきれていない可能性があることを認識しております。ご指摘の SNS・動画等デジタルメディアの活用については、若い世代への有効なアプローチであると認識しており、今後の施策推進にあたって検討してまいります。
3	P45 基本目標3	結婚支援	結婚支援について、出会いの場の創出や婚活イベントなど、より具体的な施策を盛り込んでほしい。	結婚支援の取組は重要な課題と認識しています。住民アンケートでは、結婚していない理由として「適当な相手にまだ巡り合わないから」が 30.4%で最多であり、出会いの場を創出することが一定の効果に期待できると考えられます。しかし、若い世代のライフスタイルの変化や結婚に対する意識の変革など様々な要因が複雑に絡んでいるものと考えられますので、埼玉県との連携強化や地域の実情に応じた施策の充実を

No.	箇所	内容	ご意見	町の考え方
				検討してまいります。
4	P45 基本目標3の② 実施する主な施策・取組	子育て支援	「子どもの居場所づくり等の検討」を「居場所づくり」と言い切って今後作っていくという方向を示してはどうか。	本計画における「検討」という表現には、単なる議論にとどまらず、実施に向けた具体的な準備プロセスを含めていることから、現行の表現で具体化に向けた取り組みを進めてまいります。
5	P46 基本目標4の② 実施する主な施策・取組	地域資源の有効活用	「必要に応じて行政区の再編を支援する」を加えてはどうか。地域コミュニティの強化のために。	行政区の再編については、各地域の住民による主体的かつ慎重な判断が必要な事項です。本計画に掲げる「行政区・自治会活動の支援」により、地域からの相談や必要に応じた支援を行うことが可能であるため、現行の表現の中で取り組んでまいります。